

ゴッぽがから

広報



シンボルマーク



「ボール送り競争」で熱戦を繰り広げるお年寄りたち

毎号とじこんでください。きつとお役に立ちます。

スポーツの秋・満喫 市老人スポーツ大会

市民体育館で9月19日、「第16回五所川原市老人スポーツ大会」が開かれ、各地区の老人クラブから選手など約500人が参加しました。

競技は「玉はこび競争」「パン食い競争」「ボ-

ール送り競争」など10種目約3時間にわたって熱戦が展開され、一足早いスポーツの秋を満喫していました。

平成2年

10.1

No.720

人口と世帯

		前月比
男	24,250	(-45)
女	26,696	(-28)
計	50,946	(-73)
世帯数	15,210	(-17)
(8月31日現在 住民基本台帳)		

市老人福祉大会

95歳以上長寿者など98人を表彰



佐々木市長から表彰される方々

市では市民体育館で九月十二日、市社会福祉協議会、市老人クラブ連合会と共催で「第二十七回市老人福祉大会」を開きました。

この大会は、これまで社会に貢献してきたお年寄り達を慰労するとともに、その長寿と健康を祝うもので七十五歳以上のお年寄り約千四百人が出席しました。

大会では、佐々木市長の式辞に続いて、九十五歳以上の長寿者二十人と米寿を迎えた六十人、寝たきり老人介護者五人、老人クラブ十三人など合わせて九十八人を表彰しました。

午後は、アトラクションが行われ、出席したお年寄りたちは楽しい一日を過ごしました。

表彰された方々は次のとおりです。
(敬称略)

95歳以上の長寿者



新谷 きよ
97歳
前田野目



青山 あさ
97歳
広田



斎藤 テル
97歳
七ッ館



三浦 まさ
98歳
金山



小野 よし
100歳
金山



加藤 かよ
103歳
稲実



福間 タケ
95歳
毘沙門



川浪 きよ
95歳
藻川



一戸 トヨ
96歳
浅井



今 つな
96歳
飯詰



斎藤 まさ
96歳
戸沢



浅川 巽
97歳
中平井町



中村 とし
95歳
柳町



斎藤 清吉
95歳
前田野目



横嶋 なを
95歳
金山



石岡 ちよ
95歳
野里



小栗山はる
95歳
小曲



下山 ヒサ
95歳
新宮町

長生きのひけつは…

今回、95歳以上で表彰された方20人の「長生きのひけつ」は……

最も多いのが「何でもよく食べる」が10人、次いで「体を動かす」が4人、「三食きちんと食べる」と「よく働くこと」が各2人、「くよくよしない」と「感謝の気持ちをもつ」が1人ずつでした。



88歳に達した長寿者



成田 タミ
95歳 瀬高



木村 やよ
95歳 姥

片山シエ、中井ちさ(以上田町)、横嶋みや(元町)、石川クラ、藤田イマ(以上鳥森)、佐々木カツ(新町)、大高子エ(布屋町)、高橋なん(弥生町)、吉町や系、横岡シエ、石岡ツマ、新岡正雄(以上難田)、加福トラ(上平井町)、成田チセ(下平井

町、木村ヒサ、山内惣馬太郎、工藤キミ、館山榮(以上幾世森)、澁谷リカ、飛嶋たけ(以上柏原町)、藤田サワ(錦町)、杉田きぬ(幾島町)、高橋キヨ(新宮町)、成田たせ(松島町四丁目)、富坂ムラ、須郷健次郎(以上若葉二丁目)、木村とみ(姥

池、一戸サキ(広田)、越谷クニ(みどり町一丁目)、福士ぞて(梅田)、小笠原チユ(高野)、工藤タカ(前田野目)、笹森そね(浅井)、土岐恒太郎(神山)、片岡トキ松野木、工藤タミ、木村徳太郎(以上金山)、山口永作(唐笠柳)、木村ヤエ(石岡)、寺田久助(吹畑)、加藤トシ(漆川)、小野ソヨ、山口立太郎(以上一野坪)、尾野ナリコ、竹林賢吉、対馬カヨ、前田マサ、三上クニ(以上飯詰)、杉山ヨシ(毘沙門)、太田善七、木村タキ(以上長富)、太田多次郎、成田タキ(以上藻川)、川浪良造、古川ミエ(以上鶴ヶ岡)、上原ニワ(高瀬)、奈良ミツ、山形善太郎(以上田川)、館山要吉(川山)、白取サト(桜田)

寝たきり老人 介護者

乗田兼五郎(藻川)、福土操(飯詰)、工藤千鶴子(米田)、成田恵代(栄町)、開米雍子(みどり町三丁目)

老人クラブ 表彰

中村ツヤ(川端町永楽会)、齋藤勇(前田野目第一長寿会)、木村チヤ(姥茨亀竜寿会)、前田誠(梅田米寿会)、佐々木善吉(中泉長寿会)、川浪与助(松野木松寿会)、佐々木作太郎(福岡福寿会)、工藤スギ(福山第二長寿会)、中山幸一(戸沢白山長寿会)、川浪ミサ(川山幸生会)、小野キクイ(沖飯詰老生会)、佐藤正彦(さつき町みどり会)、乗田兼作(藻川長生会)

県老人福祉祭 表彰

○100歳以上の長寿者
加藤かよ(稲実)、小野よし(金山)
○88歳以上の長寿夫婦
浅川巽・ヒサ(中平井町)、小笠原謙吉・イマ(前田野目)

○90歳に達した長寿者
一戸チヨ(田町)、岩谷ヨミ(新町)、成田善作(岩木町)、田中カシ(敷島町)、坂本ソ

小野よしさんに 内閣総理大臣から祝状

去る九月十四日、市内金山の小野よしさん(満百歳)に内閣総理大臣から祝状と銀杯が贈られました。小野さんは現在、車いすで生活していますが、毎日訓練を行っておりたつて元気に過ごしています。



小山内助役から祝状を伝達される小野さん

この日は、小山内助役が特別養護老人ホーム「青山荘」(島村吉三久園長)を訪れ、入所者全員の前で伝達すると、入所者からは長寿をたたえる大きな拍手が送られました。

事故見舞金制度に加入して大きな安心を……

出稼者及び留守家族の幸せのために、県と市町村がつくった出稼協会で行う互助制度です。

出稼ぎしている人やこれから出稼ぎしようとする人はどなたでも加入できます。

加入した人は、出稼中いつ、どこで災害にあっても見舞金を受けられます。

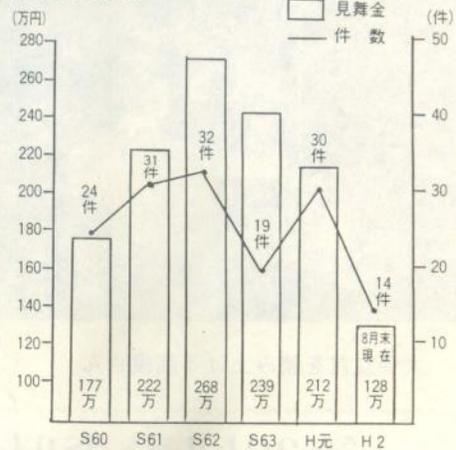
▶加入申し込み 市民相談室及び市役所各支所の窓口で受付けています。

▶掛金 1人年間600円です。ほかに、県と市が1人年間800円ずつ負担します。

▶見舞金早見表

種類	事故・火災の程度	給付額	
死亡見舞金	出稼中(出発から帰宅まで)における死亡、ただし、一時帰省中の死亡を除く。	500,000円	
傷病見舞金	出稼中における負傷又は疾病で休業療養を要するもの	6か月以上であるもの 80,000円 3か月以上6か月未満であるもの 60,000円 1か月以上3か月未満であるもの 50,000円	
	障害見舞金	出稼中における負傷又は疾病による障害で通常の就労を不能とする程度のもの	200,000円
	火災見舞金	加入者の留守宅の火災による焼失(半焼以上)	150,000円

▶見舞金給付状況



▶見舞金加入状況

年度	S60	S61	S62	S63	H元	H2 8月末現在
加入者数	962	817	1,324	1,566	1,510	414

※なお、詳しくは市民相談室(☎352111番 内線282番)へお問い合わせください。

十月や十一月になると出稼ぎの時期になってくる。出稼ぎの時期になるとお父さんは「十月と十一月がいちばんいやだなあ」と言う。なんで、なんでいやだ……さびしくなるはんで」と私が聞くとお父さんは「うんだなあ」と答える。

お父さんが出稼ぎに行ってしまうと、それまでにぎやかだった食たくがシーンと静かになってしまふ。お父さんはお酒を飲みながら、みんなにじょうだんを言っでよく笑わせていたからだ。お父さんのいない食たくは、やっぱりさみしいなあと感じる。

お父さんがいない間いちばん大変なのはお母さんだ。食事のしたくをししたり、そのじををしたり、会社へつとめに行ったり、雪かたづけをししたりとてもいそがしい。とくに、雪かたづけは大変だ。私はお母さんの手伝いをしながら、お父さんがいれば早く終わるのになあ……とも思う。

お父さんは出稼ぎさきで、ダンブやトラックの運転をしている。なれていない道

路なので苦労も多いと思う。車の数も多いので運転には神経を使うだろう。

お父さんが行ってる間、電話がかかってくる時がいちばんの楽しみだ。夜、電話がくる時はだいたい八時すぎだ。そんな時は、お父さんだつてすぐわかる。お父さんと顔をむけ合つて話す時は、何でも言えるのに、電話だとなんかはずかしくて思うように話ができない。電話が終わつてから、ああ話せばよかったとか、こう話せばよかったのといつも思う。でも、お父さんの元気な声が聞けただけでうれしくなってくる。

お父さんは、家族みんなのために働いている。兄や私を学校へ行かせるため、みんなの食事のため、洋服を買つたりするために働いている。

お正月が近くなると「お父さんあと十日で帰つてくる」とか「あと五日」などと言うようになる。そんな時は、心がうきうきしてみんなの声がはずんでくる。お父さん帰ってくる時、家族のみんなに必ずおみやげを買つてきてくれる。私にはうさぎや犬のぬいぐるみを買つてくれた。お父さんが帰つてくると、とたんに家中がにぎやかになる。毎日があわただしくなる。お父さんがあちこちへ連れていってくれるからだ。そして夜ねる時間になると「ああ、やっぱり家き帰つてくれば静かでないなあ……」て気持ちよさそうに言う。むこうの生活はよほどさわがしいのだと思う。

お父さんは、今年も出稼ぎに行きます。そして、みんなのためにお金を送つてくれたり、おみやげを買つてくれたりすると思う。おみやげは今から楽しみだ。でも、お金よりおみやげより、何より大事なのはお父さんの元気な姿です。明るい笑顔です。お正月に帰つてくる時は、事故のないように帰つてきてください。健康で元気に「ただいまー」つて帰つてきてください。





大会宣言を読み上げる高橋さん

交通事故を防止しようと 市民総決起大会

秋の全国交通安全運動(9月21日～30日)に先駆けて「交通事故防止市民総決起大会」が9月18日、市働く婦人の家で開かれ市内の各団体から約200人が参加しました。

大会では佐々木市長が「今月に入って痛ましい事故が続きましたが、この教訓を生かし、交通事故にあわないよう、また起こさないようにしましょう」とあいさつを述べました。続いて工藤忠男五所川原警察署長、成田守県議会議員が激励のことばを述べました。

最後に、高橋豊三郎市老人クラブ連合会副会長が大会宣言を読み上げ、交通事故防止を訴えました。

第39回青森県青年大会開かれる

「大地に刻め生きた汗、心に刻めやさしい瞳」をスローガンに、県内の働く青年の祭典である第39回青森県青年大会が9月8・9の両日、当市を主会場に開催されました。県内32市町村から約1,100人の青年団員らが参加し、2日間にわたりスポーツ、文化に青年の力を発揮しました。

初日の開会式では、田中茂勝県連合青年団長のあいさつに続いて、北村正哉県知事が祝辞を述べた後、小山内助役が歓迎のことばを述べました。最後に五所川原市の外崎真人選手が力強く宣誓して式を終えました。

参加者は2日間にわたって熱戦を繰り広げ、青年団活動の一層の躍進を誓い合いました。



市民体育館で行われた開会式

日本損害保険協会が 化学消防ポンプ自動車を寄贈



佐々木市長に目録を手渡し金子会長

日本損害保険協会では9月13日、五所川原地区消防事務組合(管理者・佐々木市長)に高性能の化学消防ポンプ自動車1台を寄贈しました。同協会では、災害や事故の防止・軽減に役立つと防災事業の一環として昭和27年から消防ポンプ自動車の寄贈を行っているもので、同組合への寄贈は昭和37年と49年に次いで3台目となります。

この日は、同協会東北地方委員会の金子匡高青森県委員会会長が佐々木市長に目録を手渡しました。今回寄贈された化学消防ポンプ自動車は、A-1級(毎分2,800ℓの放水量)で、従来のポンプ車より800ℓ以上多い放水量を誇る最新型のもので、この寄贈により今後の消火活動が一層充実するものと大きな期待が寄せられています。

少年防犯弁論大会

第38回五所川原地区少年防犯弁論大会が9月10日、市立第一中学校で開かれ、五所川原市と鶴田町の各中学校の代表生徒が熱弁を振るいました。これは五所川原地区防犯協会と五所川原警察署が主催し毎年開かれているものです。

生徒たちは、自らの体験で学んだことを訴えたり、住みよい街づくりへの意見などを述べました。審査の結果、団体の部は1位が五三中、2位が五二中、3位が五一中。個人の部1位には五三中3年の下川原千晶さんが選ばれ、2位には五二中2年の富士美由紀さんが、3位には五四中3年の鞆間ゆかりさんが入賞しました。



熱弁を振るう代表生徒

一時帰国の関さん、市長を表敬訪問



市役所を訪れた関さんにお祝いを渡す佐々木市長

五所川原市出身で中国残留孤児の関弘さん(中国名・候世財)が9月14日、故郷へ一時帰国しました。

関さんは、義母のきみさん、弟の勝幸さんらとともに9月17日、市役所を訪れ、佐々木市長を表敬訪問しました。

関さんは、昭和52年にも一時帰国しており、今回は春陽会というボランティアグループの招きで来日したもので、10月5日まで滞在の予定です。



バザー初日に行われたテープカット

福祉基金にと30万円寄付 松緑神道大和山

松緑神道大和山(田沢康三郎教主)では、社会福祉に役立ててくださいと市社会福祉協議会に30万円を寄付しました。

これは、9月8日から2日間にわたって市庁舎前お祭り広場で開いたチャリティバザーの益金の一部を寄付したものです。初日の開会式では、小山内助役が来賓としてお祝いのことばを述べ、テープカットを行いました。

県母子・寡婦福祉大会開かれる

第35回県母子・寡婦福祉大会が9月13日、市民文化会館で開かれ、県内各地から約600人が参加しました。

この大会は、財団法人青森県母子寡婦福祉連合会と五所川原市母子寡婦福祉会の主催で開催されたものです。

大会では、藤田美栄連合会長のあいさつ、来賓のあいさつに続いて、北山昭美県貯蓄生活設計推進委員が「これからの暮らし」をテーマに講演。最後に、①母子家庭の母の医療費無料化②母子家庭・寡婦の雇用優先③児童扶養手当増額などを要望する決議を採択して大会を終えました。



母子家庭・寡婦の福祉向上を求めた大会

楽しい企画がいっぱい・ワクワクドキドキの爽快イベント

第1回「岩木川ふるさと村」開村

知ろう、ふれよう、母なる川の豊かな恵みーをテーマに、「岩木川」をもっと身近に感じてもらうと今年初めて開催されるものです。市民の皆さん多数のおいでをお待ちしています。



▷日時 10月7日(日) 9:00~16:00

▷場所 岩木川河川敷(北斗グランド)

▷イベント

◎学習コーナー=川の写真パネル、小学生の図画展、降雨体験装置等

◎フレッシュ市場=民芸品、特産物の展示即売

◎幼稚園児鼓笛隊演奏◎アンパンマンショー

◎岩木川なんでもクイズ◎郷土芸能大会

◎運動広場=凧上げ大会、ゲートボール大会

◎水辺コーナー=特設釣堀、魚のつかみ取り

◎PRコーナー=地酒の試飲、豚汁サービス

主催 建設省青森工事事務所・五所川原市

農家の皆さんへー

◎平成2年産米の検査重点事項

1. 適期刈取りを励行し、茶米や胴割米の発生を防止しましょう。
2. ほ場での長時間堆積、不良保管等による着色粒の防止に努めましょう。
3. 適正水分(15.5%)の仕上がりに努め、過乾燥を防ぎましょう。
4. 異種穀粒及び異物(土砂)の混入を防止しましょう。
5. 検査済の台秤を使用し、適正量目確保に努めましょう。
6. もみずり調整に注意し、もみ混入・肌ずれ防止に努めましょう。
7. 出荷は制度別(政自他趣)に並行検査を実

青森食糧事務所五所川原支所

施しますので、一次集荷業者と連絡を密にし、全量出荷しましょう。

8. 麦の刈取り・調整に使用した農機具類の清掃を徹底しましょう。

◎米の消費拡大運動並びに不正規流通米の防止

1. もう一杯ご飯を食べて、お米の消費拡大に協力しましょう。
2. お米の不正規流通は、シナイ・サセナイ・みんなで守りましょう。
3. 超過米(予約限度数量以外の余裕米)は、一次集荷業者を通じ全量売渡しをしましょう。
4. 不正規流通に係る情報を一次集荷業者か食糧事務所五所川原支所(☎352138番)に提供して下さい。

犯罪捜査にご協力を

- 犯罪について知っていることは積極的に通報を!
- 聞込み捜査にご協力を!
- 被害に遭ったときは必ず届出を!
- 「事件かな?」と思ったら110番通報を!
- 指名手配犯人の検挙にご協力を!

五所川原警察署

「歴史の道」参加者募集

◎メインランド尾去沢への旅

- ▷日時 10月7日(日)五所川原中三前6:30発
- ▷会費 5,500円(入坑料、昼食)
- ▷申込み締切 10月5日(金)

◎紅葉の八幡平と角館、田沢湖の旅

- ▷日時 10月21日(日)五所川原中三前6:00発
- ▷コース 中三前～八幡平～玉川温泉～玉川ダム～田沢湖～辰子姫～角館武家屋敷～伝承館～阿仁異人館～中三前着20:15
- ▷会費 6,800円(昼食、見学料)
- ▷申込み締切 10月13日(土)

◎申込み先 青森市松森字佃175 青森県歴史の道整備促進協議会事務局 (☎0177421064番)

◎受付時間 午前8時30分から午後4時まで
(日曜日、祝日を除く)

10月14日～20日は 行政相談週間です

◎特設相談所開設

行政に対する苦情、意見、要望などについて、無料で秘密を守り、行政相談員が親身に相談に応じます。

- ▷日時 10月16日(火)午前10時～午後3時
- ▷場所 市役所内市民相談室(特設日以外は自宅で相談に応じます)

▷相談員 川村昌子(敷島町1-4 ☎自宅342519番)、稲葉忠司(寺町1-5 ☎自宅343606番)

※なお、毎週木曜日は相談日となっていますので、市民相談室へお気軽においでください。

講演会(入場無料)

- ▷日時 10月5日(金)午後3時
- ▷場所 ホテルサンルート五所川原
- ▷演題 「十三湊安藤(東)氏」
- ▷講師 豊島勝蔵先生(郷土史家)

◎問い合わせ先・市商工観光課 (☎352111番内線259番)

◎主催・津軽広域観光連絡協議会

五所川原武道演武会開催

市内の武道7団体(少林寺拳法、空手、剣道、弓道、柔道、相撲、柔剣道)による演武会を開催します。市民の皆さん多数おいで下さい。

- ▷日時 10月10日(体育の日)10:00～正午まで
- ▷場所 市民体育館
- ▷入場料 無料

※詳しいことは、斎藤貢さん(☎343486番)へお問い合わせください。

平成3年度学生募集

青森職業訓練短期大学校

▷定員募集

系	科	専攻	定員
機械システム系	機械システム科	電子機械専攻	30名
		生産機械専攻	
電子・情報システム系	電子システム科	電子専攻	40名
	情報システム科	情報処理専攻 電気通信専攻	
制御システム系	制御システム科	自動制御専攻	20名
		建築空調設備専攻	
合 計			90名

▷推薦入試

- 出願期間 10月2日から19日まで
- 選考日 10月30日
- 選考方法 調査書、推薦書、小試験(数学、面接)
- 選考場所 本校、八戸
- 合格発表 11月13日

▷一般入試

- 出願期間 平成3年1月28日から2月13日まで
- 試験日 平成3年2月21日
- 試験科目 数学 数学I・II(微積)
理科 理科I又は物理から1科目
選択
外国語 英語I
- 試験場所 本校、青森、八戸、弘前
- 合格発表 平成3年3月6日

※詳しいことは、「平成3年度学生募集要項」に記載してありますので、青森職業訓練短期大学校学生課(市内飯詰☎373201番)へ切手250円分を同封してご請求ください。

相談センターが移転しました

(社)日本損害保険協会

毎日のように発生する交通事故によるさまざまな相談に対し、専門の立場で親身になって相談に応じている社団法人日本損害保険協会青森自動車保険請求相談センターの事務所が、このほど移転しサービスを行っています。相談は無料で、電話での相談も受け付けていますので、お気軽にご利用ください。

◎新所在地 青森市堤町2丁目1-7 日産火災青森ビル4階(青森文化会館向い) 青森調査事務所内☎0177221025番(直通)

◎相談日 月曜から金曜の9:30～16:40まで

◎弁護士相談日 毎月第4水曜日13:00～16:00

栄養教室のお知らせ

味覚の秋・到来!!

旬の魚やりんごをつかった調理法を学ぶとともに家族の健康を願い、バランスの良い食事のための味つけを覚えたい方は、是非参加してみませんか?

▷テーマ: 栄養の知識を学び、習慣病といわれる成人病を防ごう!

▷時間: 9時30分~13時

▷料金: 無料

▷持参するもの: エプロン、筆記用具、ごはん、みそ汁(小びんなどに入れて)、健康手帳、食事診断用紙(地区の保健協力員からもらってください)

▷申し込み先: 地区の保健協力員へ(参加申し込み用紙があります)

▷締め切り日: 10月15日(月)

対象地区	開催月日	開催場所
五小 学区	10月24日(水)	保健センター
南小 学区	10月25日(木)	

※詳しいことは市衛生課(☎352111番内線268・272番)へどうぞ。

1 国勢調査

平成2年10月1日(月)

今の日本を知り、未来を考えるための国勢調査です。

調査票は届きましたか??

調査票には、あなたの家族のありのままを漏れなく、正確に、安心して記入してください。

10月7日までに調査票を回収に伺います。

不明な点は、調査員或は下記へおたずねください。

五所川原市国勢調査実施本部
(三道会館2階)
TEL 34-5400番

風鈴の響きに泳ぐ名句あり 佐々木夢衣
星落ちる海に動かぬ船灯り 内山溥村
流れ星行方わからぬことばかり 村馬暉子
一望の稲天を突き残暑かな 三和和子
風鈴汽車音色残して駅去りぬ 渋谷房子
停年の終着駅や流れ星 石川蹊村
肩書きを消して家路や流れ星 坂田雅人
無人駅降り立つ空に流れ星 原田桂峰
短冊の舞いて奏でる風鈴車 高橋鉄輪
婚成りて沁みじみ夜長語りあう 三和算村

俳句 津軽鉄道 水車吟社

人の命を救う

「愛の献血」にご協力を!

期 日	時 間	場 所
10月19日 (金)	午前9時30分から 午前11時まで	特別養護老人ホーム 「青山荘」前

胃・大腸がん検診のお知らせ

10月に市保健センターで実施する日程をお知らせします。

実施日	対 象 地 区
10月23日	弥生町、大町、旭町、東町、 布屋町
10月24日	敷島町、上・中・下平井町、 幾世森
10月25日	籾田、末広町、新宮町
10月26日	幾島町、柏原町、錦町、 寺町、本町

※この検診は、すでに受診申し込みをされた方のみが対象となっていますのでご注意ください。

ミニドックを受けよう

市では40歳以上の市民を対象に成人病の早期発見、早期治療を目的としたミニドックを実施しています。対象となる人は積極的に受けるようにしてください。

▷実施期間 随時実施しています。

▷実施時間 医療機関によって実施時間が違いますので申し込み時にお知らせいたします。

▷対象者 市内居住の満40歳以上の方

▷受診方法 受診を希望する人は、市衛生課及び市役所各支所および実施医療機関の窓口に申し込み用紙を備えておりますので、保険証持参のうえ申し込んでください。

▷受診料 無料です。

▷診査項目 問診、身体測定、血圧測定、心電図、尿検査、貧血検査、肝機能検査。

※実施医療機関名等詳しいことは、市衛生課(☎352111番内線272番)及び市役所各支所へどうぞ。

みんなの健康教室

▷日時 10月19日(金)午後1時

▷場所 市保健センター

▷講師 中島嘉四雄先生
(中島皮膚科医院長)

▷テーマ アトピー性皮膚炎について

▷主催 北五医師会・市保健協議会